

新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査結果概要

令和 6 年度を初年度とする「高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画」の策定に向けて、主に以下の視点から調査結果を抽出し、整理しました。

- ・現計画における重点施策である「健康づくりと介護予防の推進による健康寿命の延伸」、「地域で支え合うしくみづくりの推進」、「認知症高齢者への支援体制の充実」
- ・現計画の施策ごとの達成状況を把握するために設定した指標（「介護予防に関心のある高齢者の割合」、「地域活動参加者の割合」など）※《指標》と表示
- ・介護保険事業計画に係る介護保険のサービス等への区民意識
- ・現計画に内包する「新宿区成年後見制度利用促進基本計画」における成年後見制度の認知度
- ・令和 4 年度調査で新設した設問（「通信機器の利用状況等」、「ACP（人生会議）」）

【調査概要】

○調査方法：郵送による発送・回収（礼状兼督促はがきを 1 回発送）及び WEB 回答併用

○調査期間：①から③ 令和 4 年 10 月 5 日（水）から 10 月 26 日（水）まで

④及び⑤ 令和 4 年 10 月 3 日（月）から 10 月 24 日（月）まで

○調査の種類：質問紙調査については 5 種類の調査を実施しました。

調査名	調査対象	調査対象数	有効回収数	有効回収率
①一般高齢者+介護予防 ・日常生活圏域ニーズ調査	要介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者	4,000 人	2651 人	66.3%
②要支援・要介護認定者調査	要支援・要介護認定を受けている 65 歳以上の高齢者	1,500 人	948 人	63.2%
③第 2 号被保険者調査	要支援・要介護認定を受けていない 第 2 号被保険者（40～64 歳）	1,500 人	582 人	38.8%
④ケアマネジャー調査	区内の居宅介護支援事業所に勤務する ケアマネジャー	190 人	144 人	75.8%
⑤介護保険サービス事業所調査	区内の介護保険サービス事業所	297 所	160 所	53.9%

【調査概要の見方】

○「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。

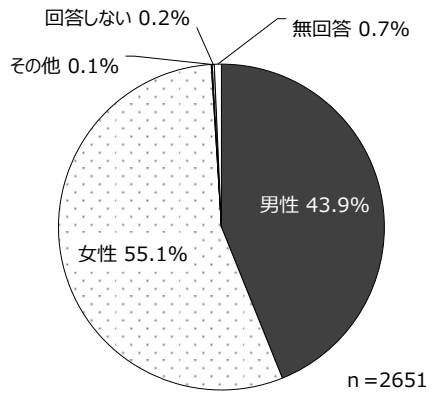
○百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字は、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入、小数点第 1 位までを表記しているため、すべての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、すべての割合の合計が 100%を超えることがあります。

○見出しの表記（一般）：一般高齢者+介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、（認定者）：要支援・要介護認定者調査、（第 2 号）：第 2 号被保険者調査、（ケアマネ）：ケアマネジャー調査、（事業所）介護保険サービス事業所調査。

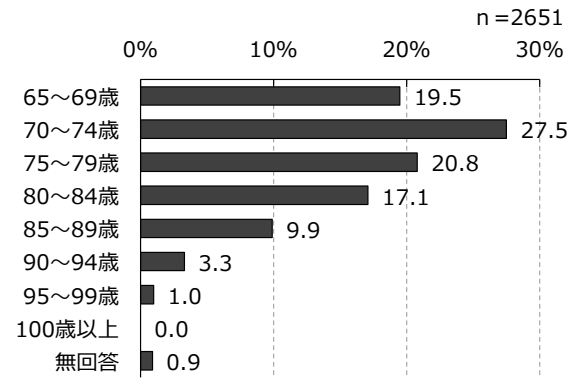
回答者の属性

■一般高齢者

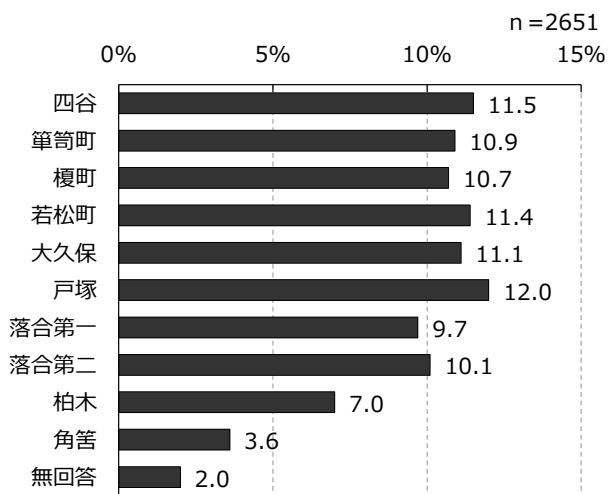
【図表1】性別



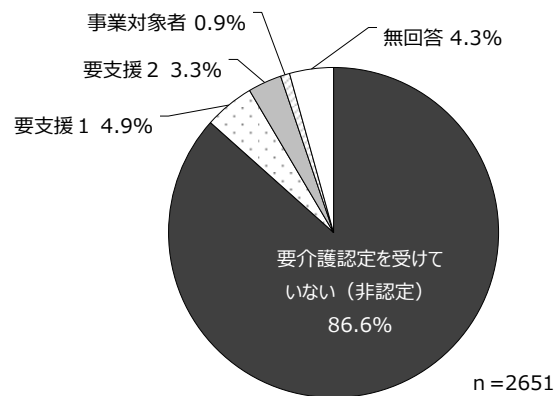
【図表2】年齢



【図表3】居住地区

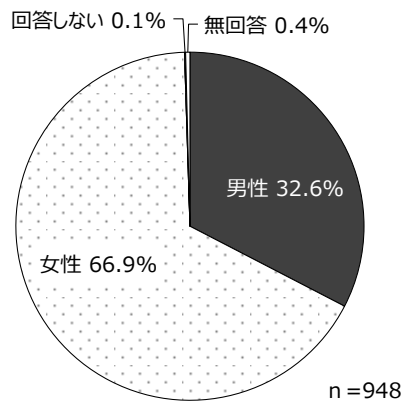


【図表4】要介護状態

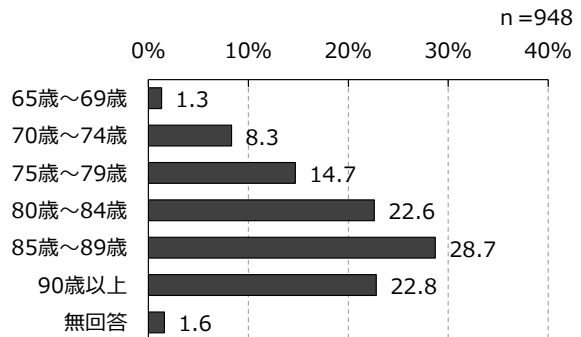


■要支援・要介護認定者調査

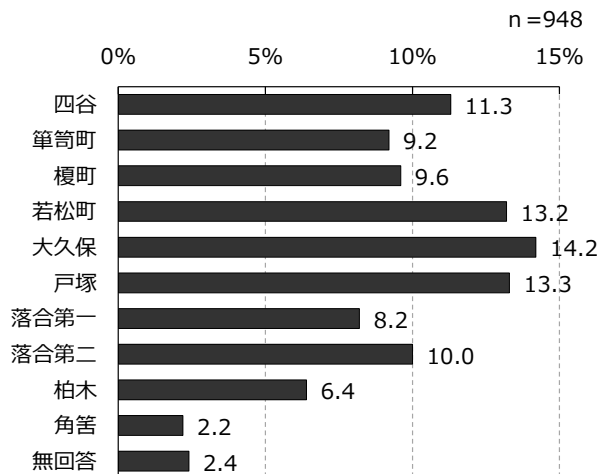
【図表5】性別



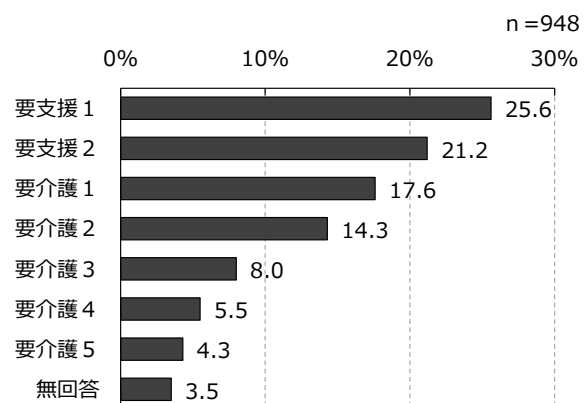
【図表6】年齢



【図表7】居住地区

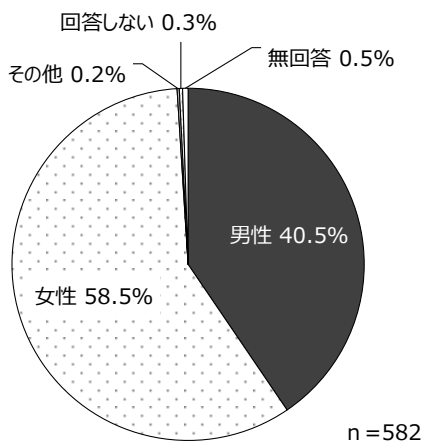


【図表8】要介護状態

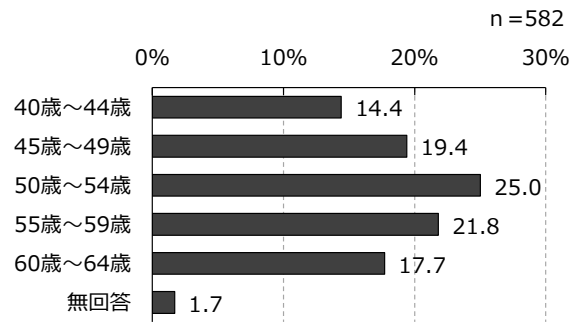


■第2号被保険者調査

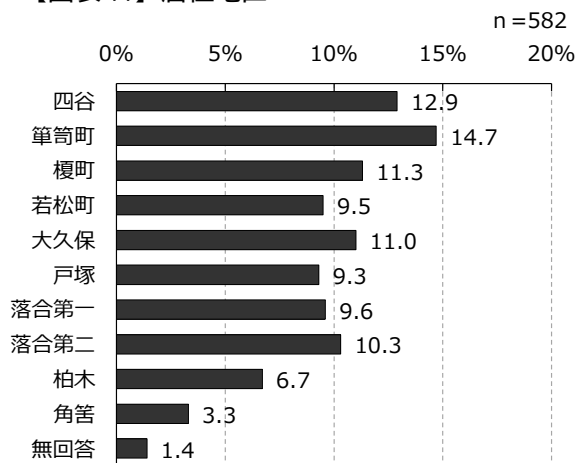
【図表9】性別



【図表10】年齢



【図表11】居住地区

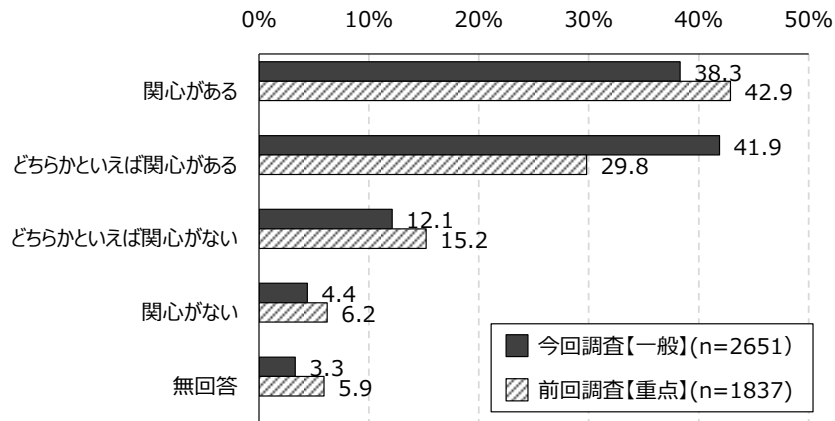


(1) 重点施策「健康づくりと介護予防の推進による健康寿命の延伸」

問 あなたは、「介護予防」について関心がありますか。《指標》(一般)問 51

介護予防についての関心は、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”は 80.2%となっており、前回調査と比べて 7.5 ポイント高くなっている。

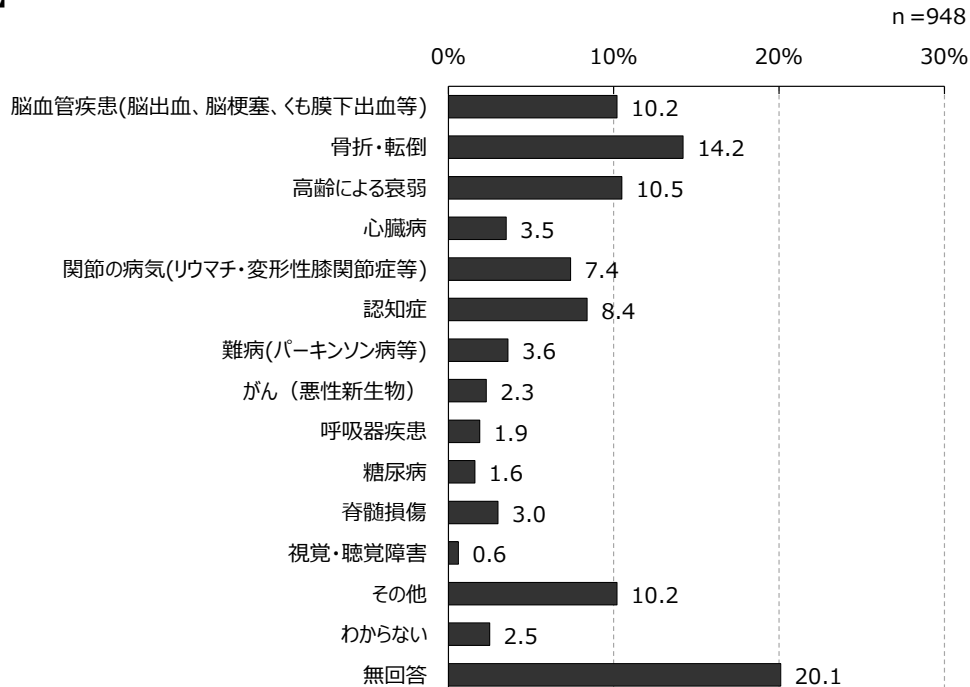
【図表 12】



問 あなたが、介護を必要とするようになった主な原因は、次のうちどれですか。(認定者)問 5

介護が必要になった主な原因について、「骨折・転倒」が 14.2%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」が 10.5%となっている。

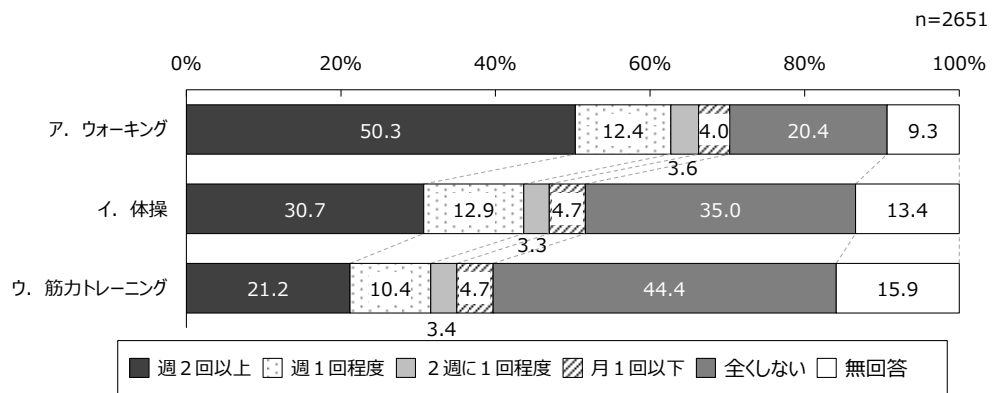
【図表 13】



問 あなたは以下の運動をそれぞれどのくらいの頻度でしていますか。(一般)問 16

運動の頻度については、ウォーキングは、「週2回以上」が50.3%と最も多く、体操は「全くしない」が35.0%、筋力トレーニングでも「全くしない」が44.4%と最も多くなっている。

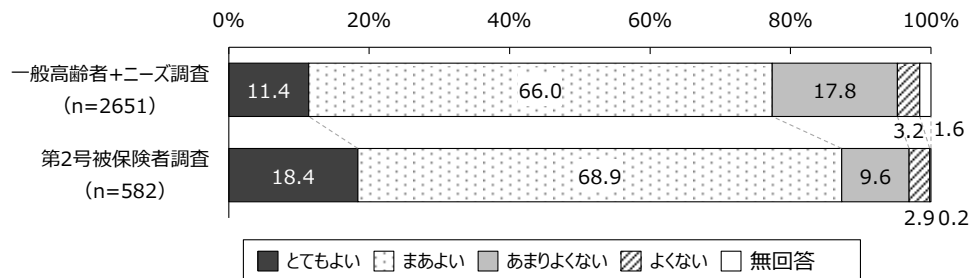
【図表 14】



問 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(一般)問 45、(第2号)問 13

現在の健康状態について、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“よい”が一般高齢者で77.4%、第2号被保険者で87.3%と多数を占めている。

【図表 15】



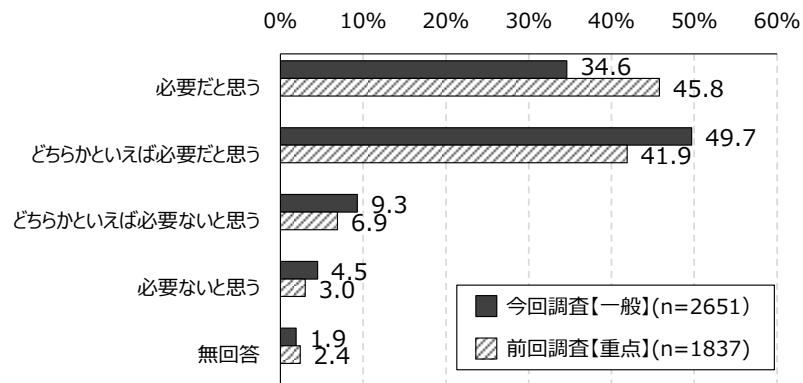
(2) 重点施策「地域で支え合うしくみづくりの推進」

問 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)についておたずねします。

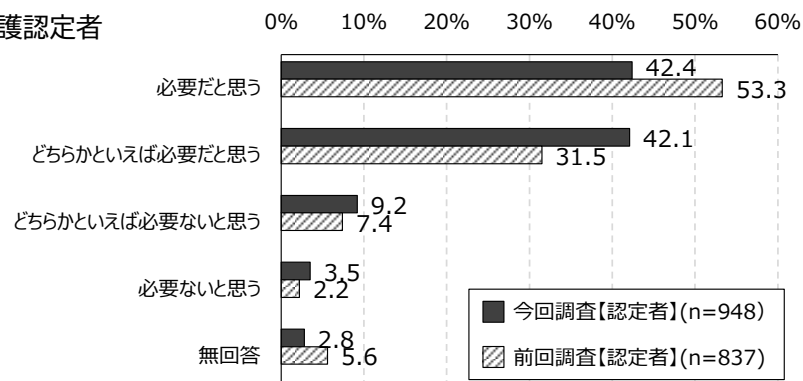
(1)地域のつながりの必要性(一般)問 42、(認定者)問 13、(第2号)問 10

地域のつながりの必要性について、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた“必要である”がいずれも8割を超えている。しかし、「必要だと思う」に限って前回調査と比較すると一般高齢者、要支援・要介護認定者で10ポイント以上低くなっている。

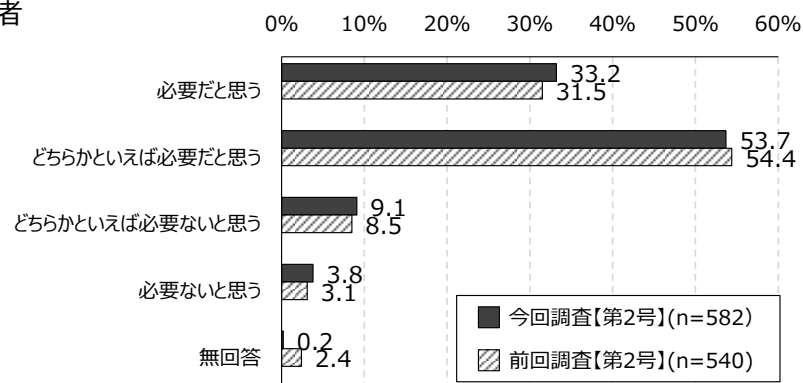
【図表 16】 一般高齢者



【図表 17】 要支援・要介護認定者



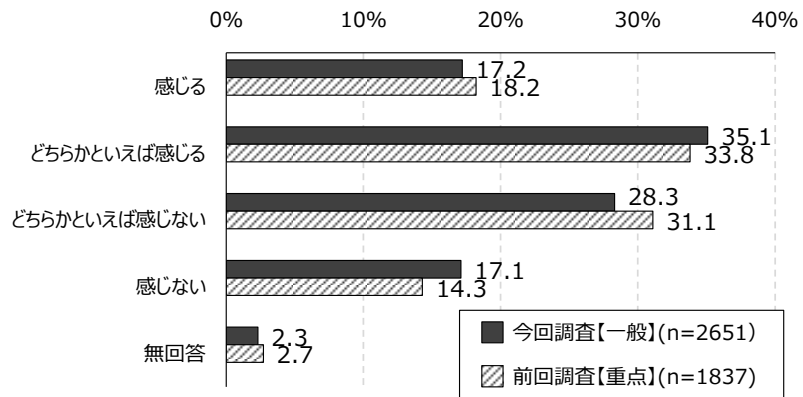
【図表 18】 第2号被保険者



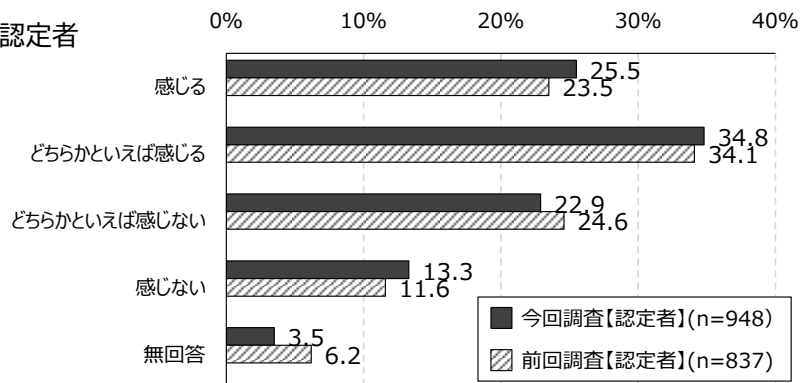
(2)地域のつながりの実感<<指標>>(一般)問 42、(認定者)問 13、(第2号)問 10

地域のつながりの実感について、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じている”が一般高齢者、要支援・要介護認定者では5割を超えているが、第2号被保険者では約3割となっている。前回調査と比較するといずれも「どちらかといえば感じる」が高くなっている。

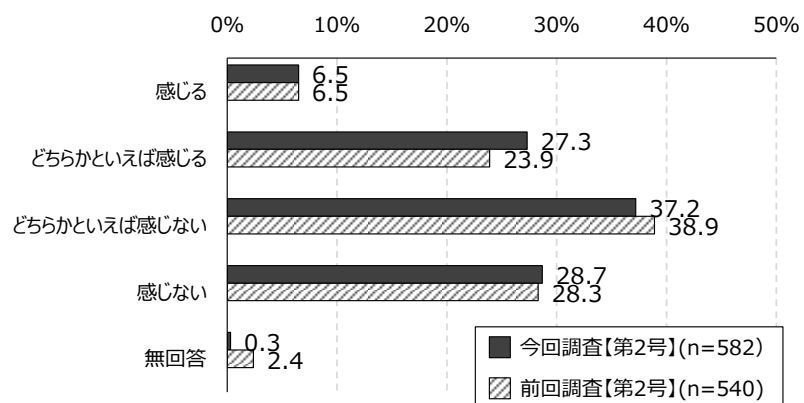
【図表 19】 一般高齢者



【図表 20】 要支援・要介護認定者



【図表 21】 第2号被保険者

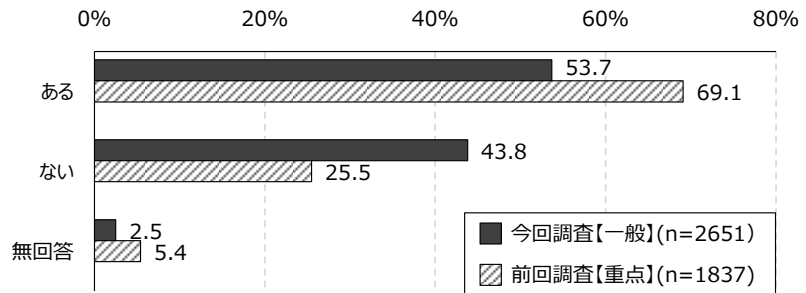


(3) 重点施策「認知症高齢者への支援体制の充実」

問 あなたは今までに、自身や家族等が認知症になったときのことについて、考えたことがありますか。(一般)問 63

自身や家族等が認知症になったときのことについて、「ある」は53.7%、「ない」は43.8%。前回調査と比較して、「ある」が15.4ポイント低く、「ない」が18.3ポイント高くなっている。

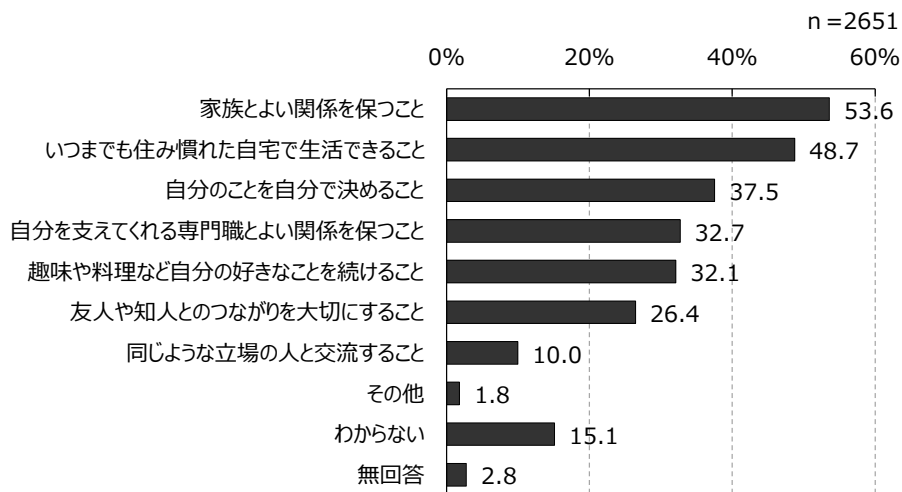
【図表 22】



問 もしあなたが認知症になった場合、大切にしたいことは何ですか。(一般)問 65

認知症になっても大切にしたいことについて、「家族とよい関係を保つこと」が53.6%で最も高くなっている。

【図表 23】



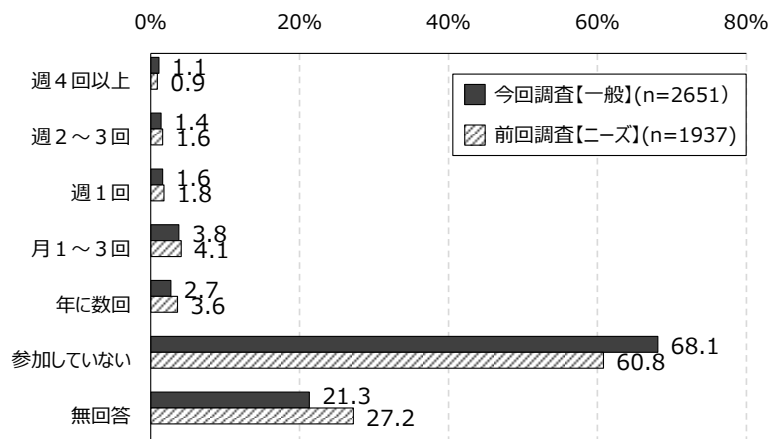
(4) 地域活動参加者の割合

問 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(一般)問 34

①ボランティアのグループ

ボランティアのグループに「参加していない」は68.1%。前回調査と比較すると、7.3ポイント高くなっている。

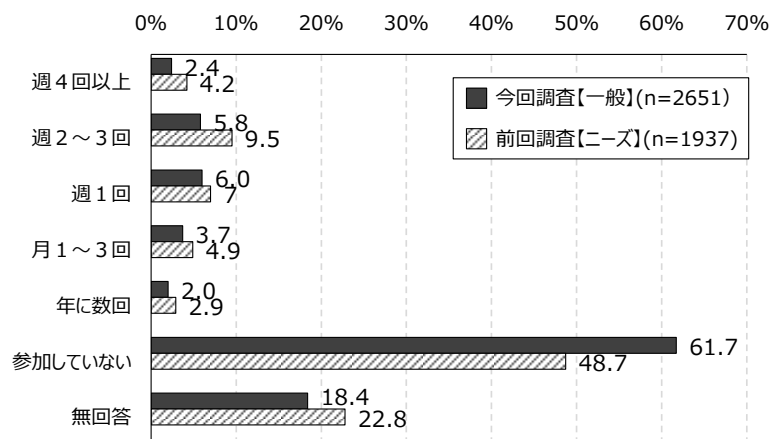
【図表 24】



②スポーツ関係のグループ

スポーツ関係のグループに「参加していない」は61.7%。前回調査と比較すると、13.0ポイント高くなっている。

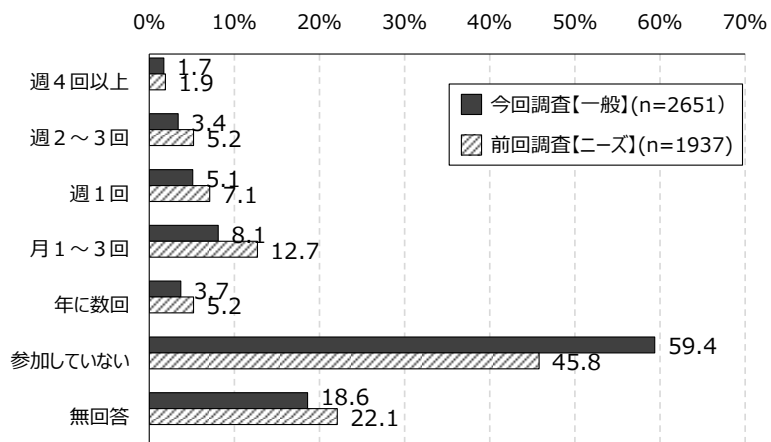
【図表 25】



③趣味関係のグループ

趣味関係のグループに「参加していない」は59.4%。前回調査と比較すると、13.6ポイント高くなっている。

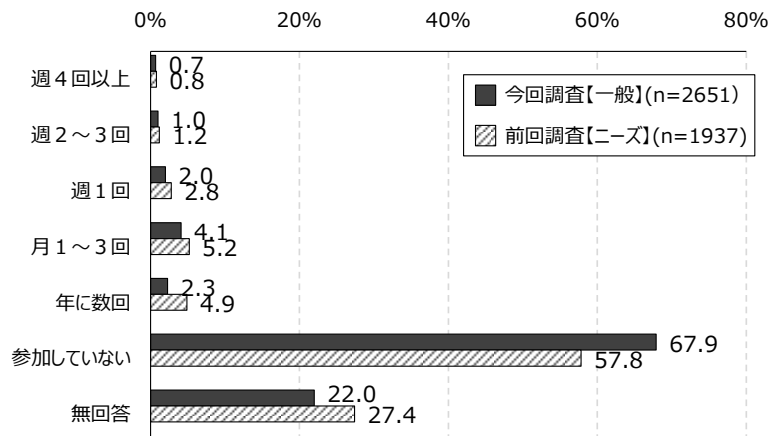
【図表 26】



④学習・教養サークル

学習・教養サークルに「参加していない」は67.9%。前回調査と比較すると、10.1ポイント高くなっている。

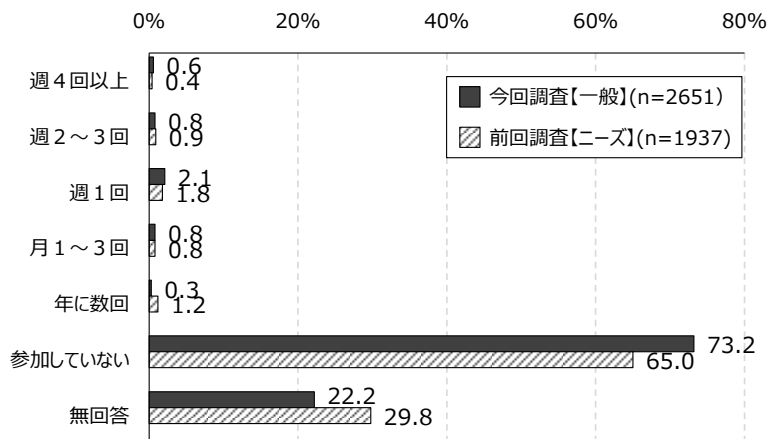
【図表 27】



⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場に「参加していない」は73.2%。前回調査と比較すると、8.2ポイント高くなっている。

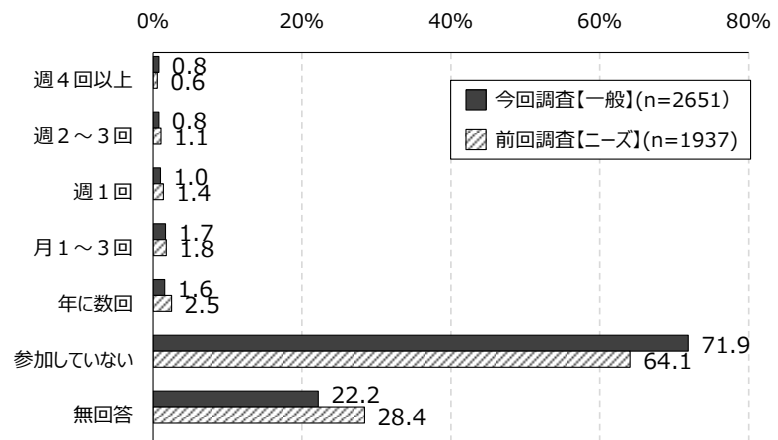
【図表 28】



⑥高齢者クラブ

高齢者クラブに「参加していない」は71.9%。前回調査と比較すると、7.8ポイント高くなっている。

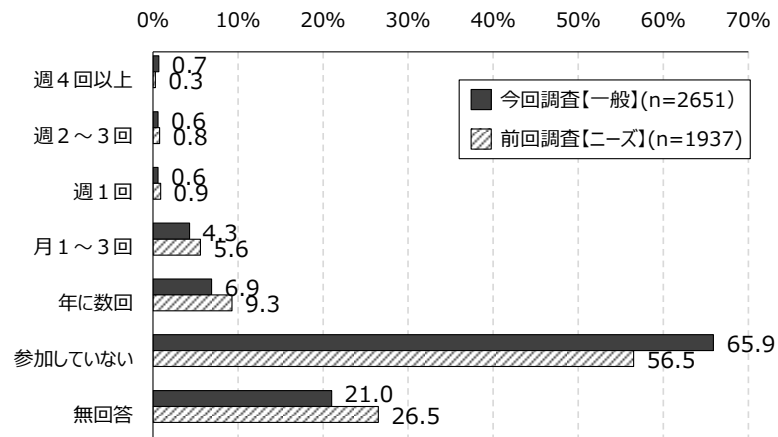
【図表 29】



⑦町会・自治会

町会・自治会に「参加していない」は65.9%。前回調査と比較すると、9.4ポイント高くなっている。

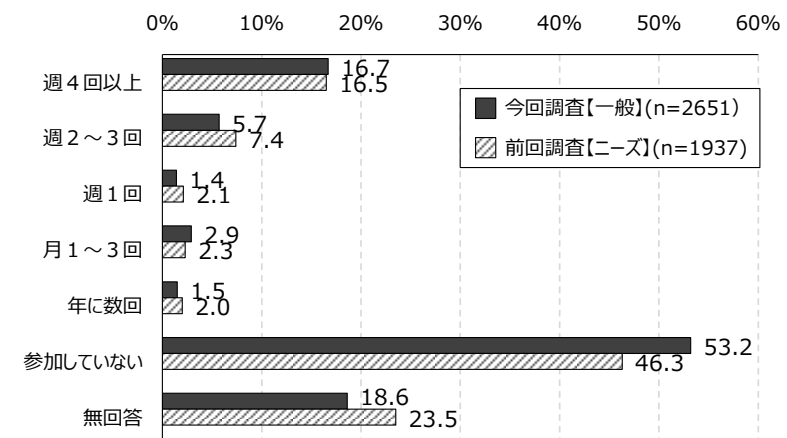
【図表 30】



⑧収入のある仕事

収入のある仕事に「参加していない」は53.2%。前回調査と比較すると、6.9ポイント高くなっている。

【図表 31】



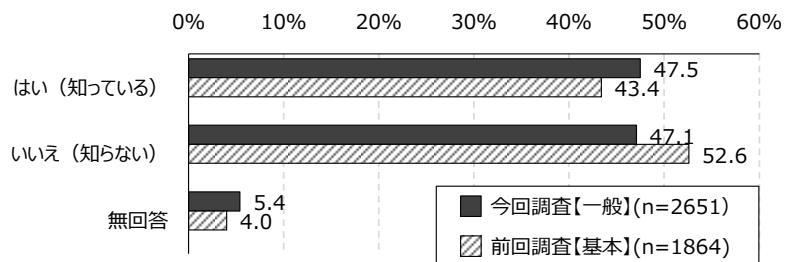
(5) 高齢者総合相談センターの認知度

問 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称を知っていますか。《指標》

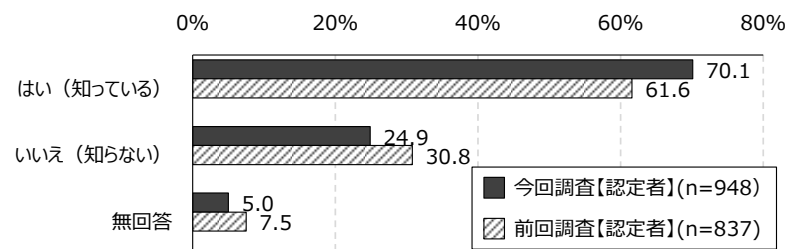
(一般)問 70、(認定者)問 27、(第2号)問 28

「高齢者総合相談センター」の名称の認知度について、前回調査と比較して、いずれも「はい(知っている)」が約4~8ポイント高くなっている。

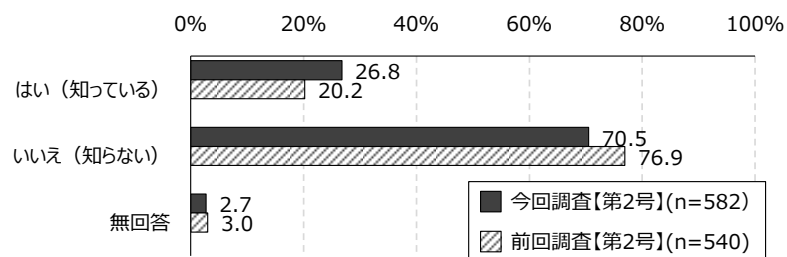
【図表 32】 一般高齢者



【図表 33】 要支援・要介護認定者



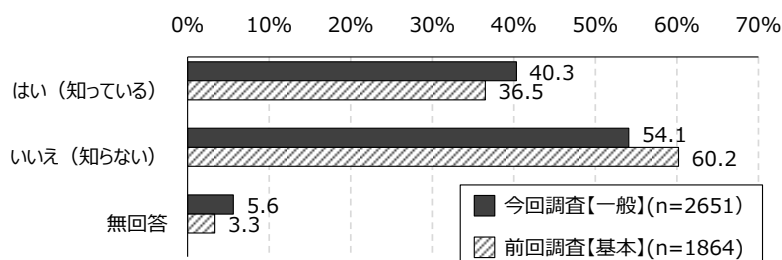
【図表 34】 第2号被保険者



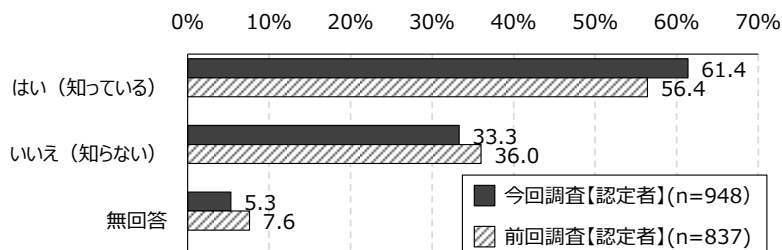
問 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関か知っていますか。《指標》
 (一般)問 71、(認定者)問 28、(第2号)問 29

「高齢者総合相談センター」の機能の認知度について、前回調査と比較して、いずれも「はい(知っている)」が約3~5ポイント高くなっている。

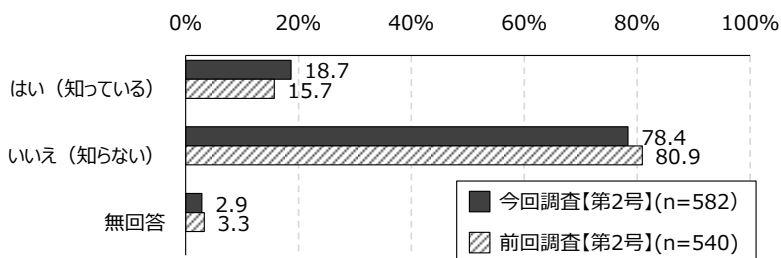
【図表 35】 一般高齢者



【図表 36】 要支援・要介護認定者



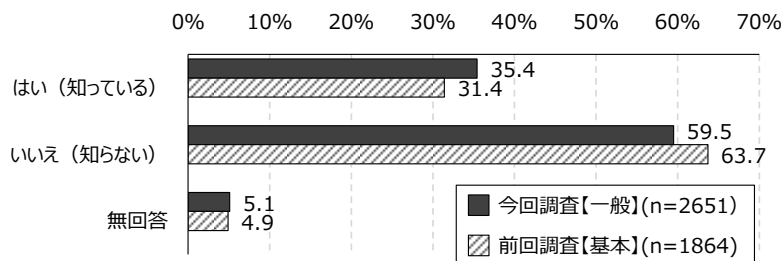
【図表 37】 第2号被保険者



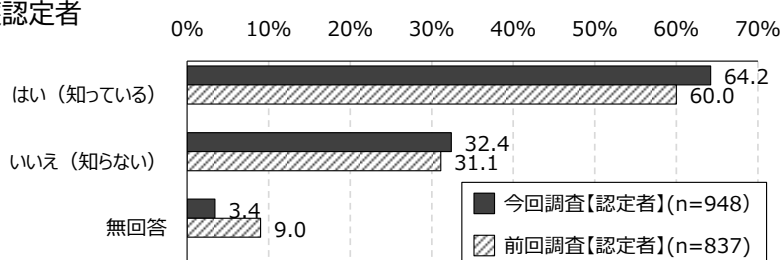
問 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるか
 知っていますか。《指標》(一般)問 72、(認定者)問 29、(第 2 号)問 30

「高齢者総合相談センター」の所在地の認知度について、前回調査と比較して、一般高齢者、要支援・要介護認定者で「はい(知っている)」が約 4 ポイント高くなっている。

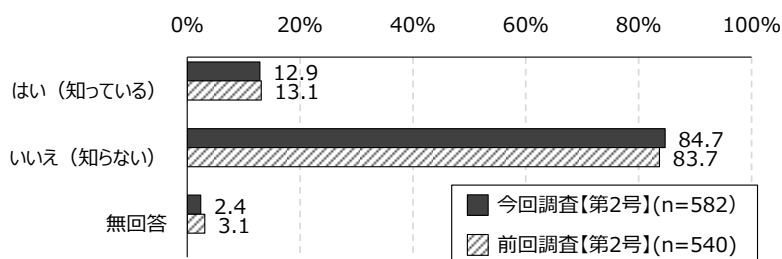
【図表 38】一般高齢者



【図表 39】要支援・要介護認定者



【図表 40】第 2 号被保険者

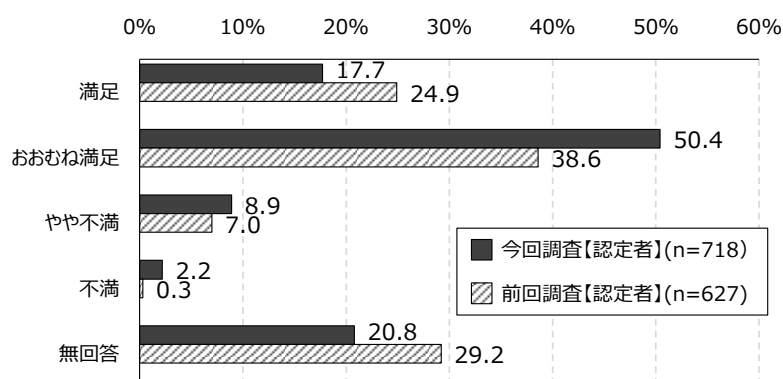


(6)介護保険サービスの総合的な利用満足度

問 介護保険サービスの総合的な満足度は、次のうちどれですか。《指標》(認定者)問 31-2(3)

介護保険サービスの総合的な満足度について、「おおむね満足」が 50.4%で最も高く、前回調査と比較して 11.8 ポイント高くなっている。

【図表 41】



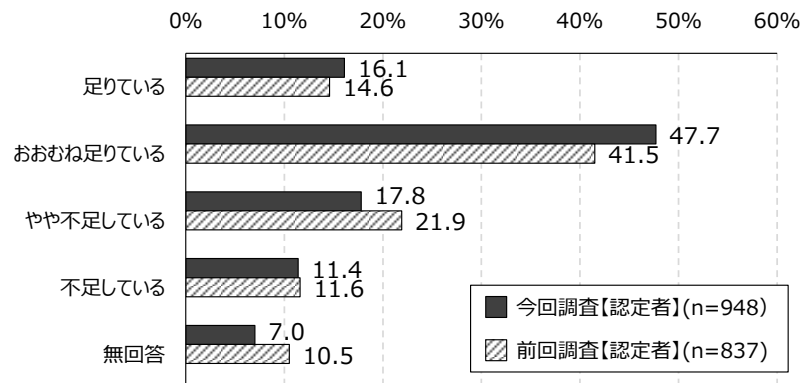
(7) 健康や福祉サービスに関する情報量の充実度

問 あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。

《指標》(認定者)問 30(2)

入手している健康や福祉サービスに関する情報量の充足度について、「おおむね足りている」が47.7%で最も高く、前回調査と比較して、6.2ポイント高くなっている。

【図表 42】

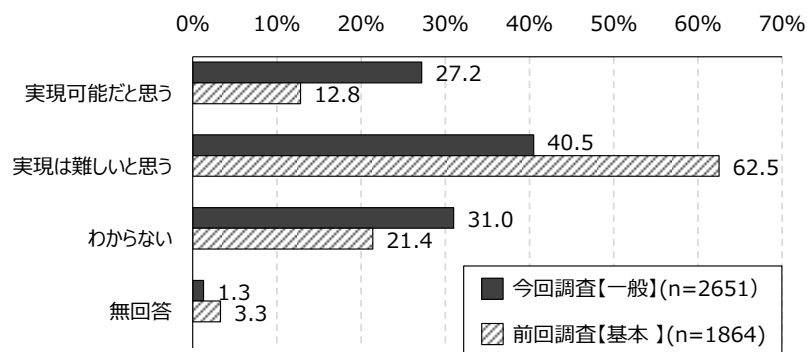


(8) 在宅療養について

問 ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。《指標》(一般)問 56

自宅での療養は実現可能だと思うかについて、「実現可能だと思う」は27.2%となっており、前回調査と比較して、14.4ポイント高くなっている。

【図表 43】

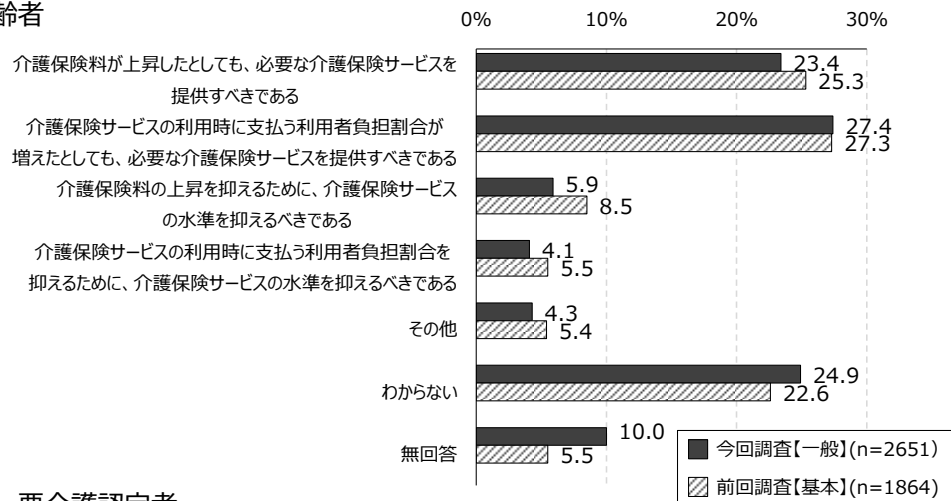


(9) 介護保険サービスについて

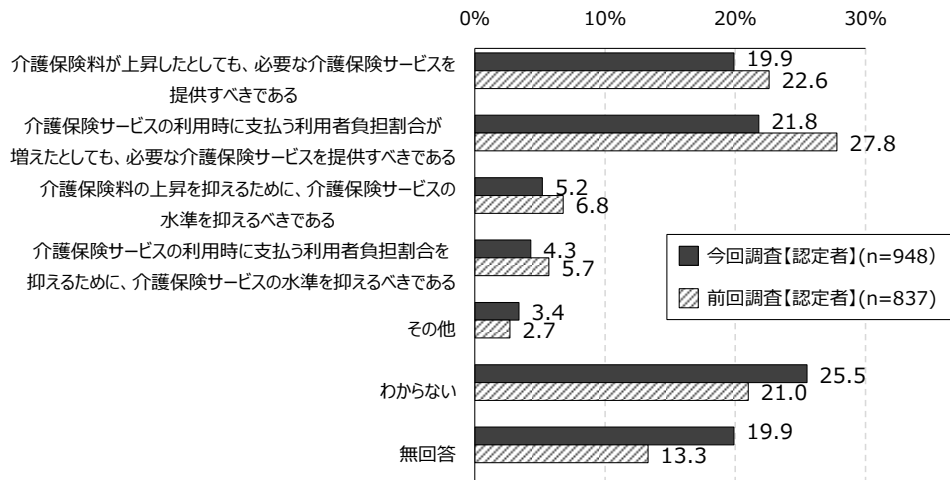
問 今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。
(一般)問 74、(認定者)問 33、(第2号)問 33

介護保険サービスと費用負担について、いずれも前回調査と比較して「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」が低くなっている。

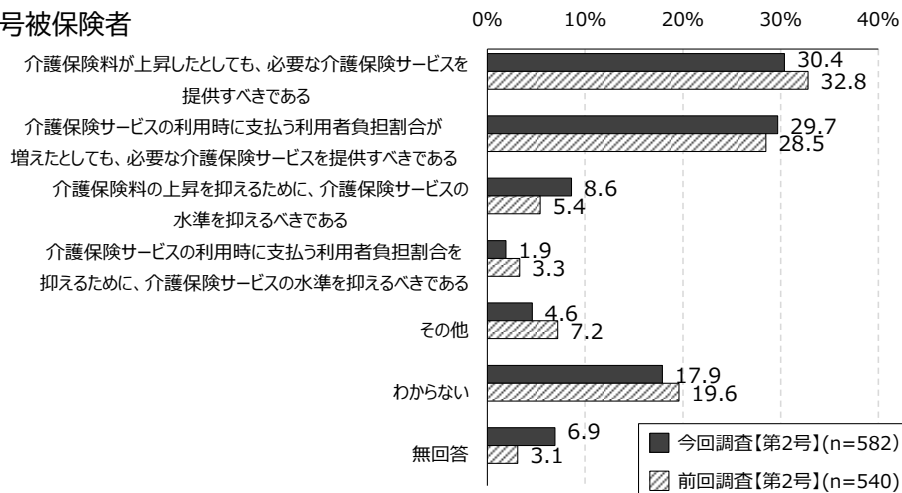
【図表 44】一般高齢者



【図表 45】要支援・要介護認定者



【図表 46】第2号被保険者

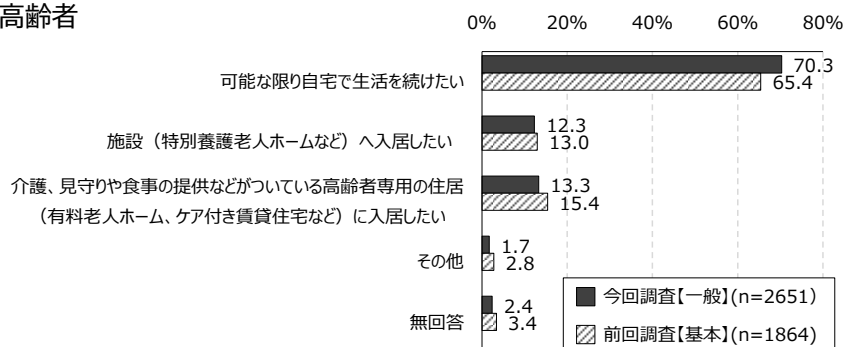


問 あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。

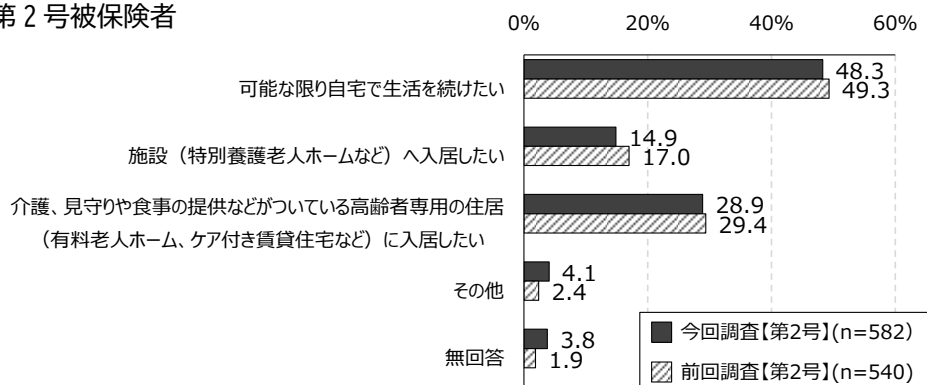
(一般)問 55、(第2号)問 21

介護が必要になった場合の生活場所について、一般高齢者、第2号被保険者で「可能な限り自宅で生活を続けたい」が最も高く、前回調査と比較しても同様の傾向となっている。

【図表 47】一般高齢者



【図表 48】第2号被保険者

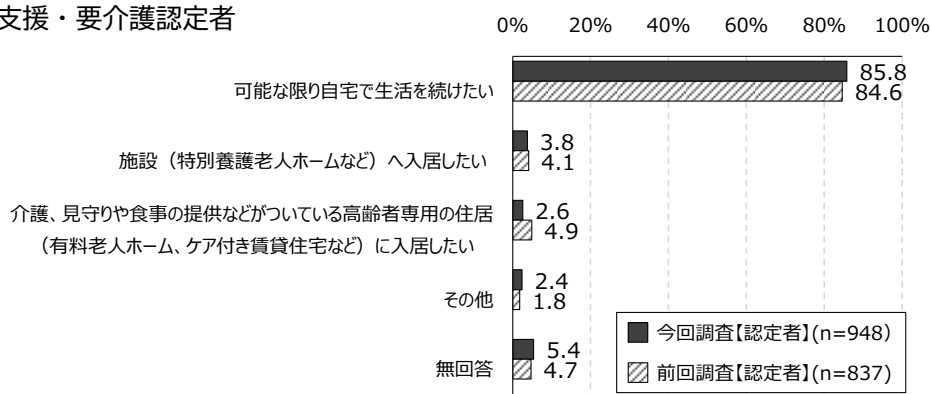


問 あなたは、これからも今のお住まい(自宅等)で生活を続けたいと思いますか。

(認定者)問 20

今後も現在の住まいで生活を続けたいと思うかについて、要支援・要介護認定者で「可能な限り自宅で生活を続けたい」が85.8%と多数を占めており、前回調査と比較しても同様の傾向となっている。

【図表 49】要支援・要介護認定者



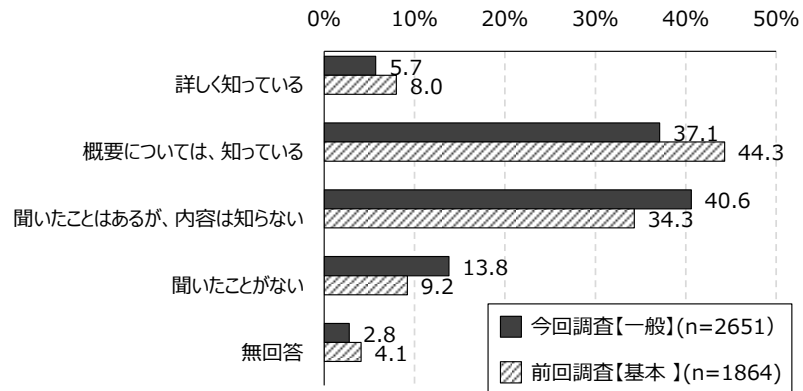
(10) 高齢者の権利擁護

問 あなたは、成年後見制度を知っていますか。

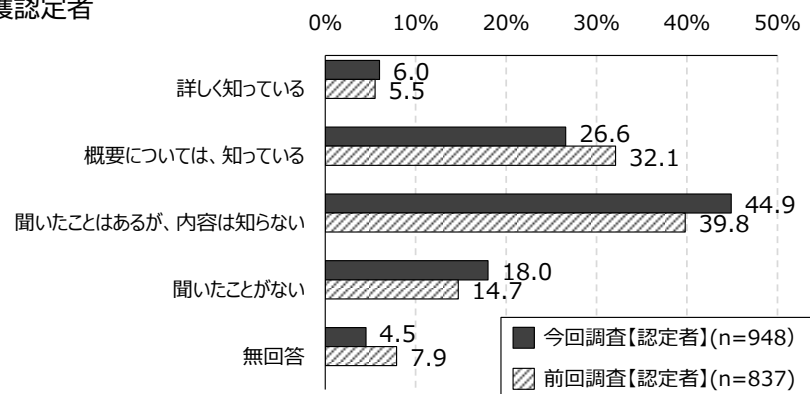
(一般)問 68、(認定者)問 25、(第2号)問 26

成年後見制度の認知度について、一般高齢者、要支援・要介護認定者で「聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も高く、前回調査と比較して5~6ポイント高くなっている。

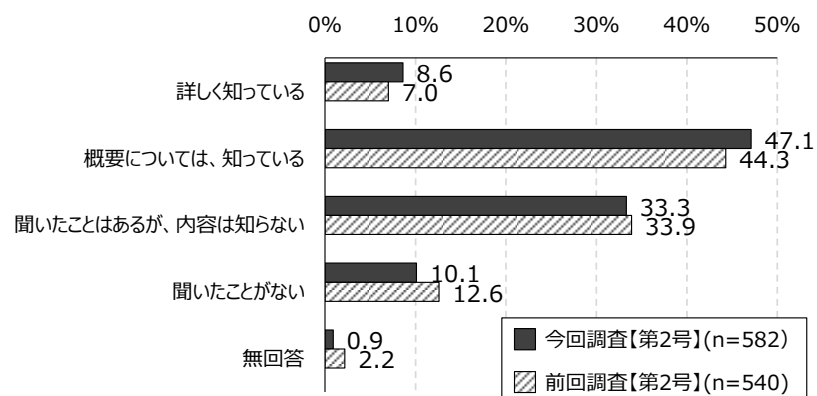
【図表 50】 一般高齢者



【図表 51】 要支援・要介護認定者



【図表 52】 第2号被保険者



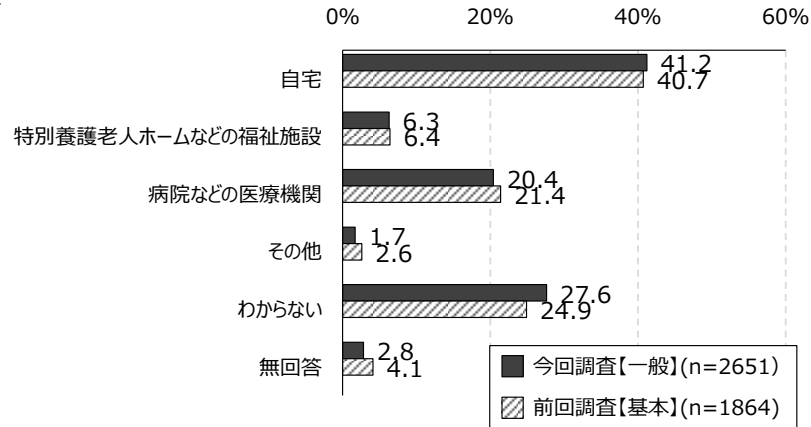
(11) ACP (人生会議)

問 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。

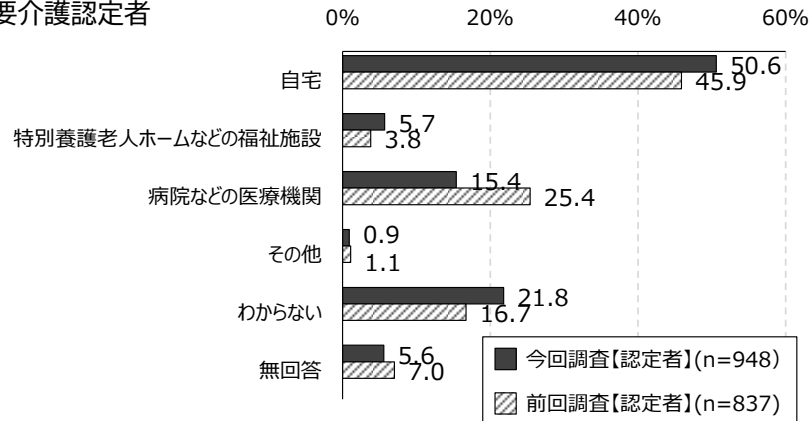
(一般)問 57、(認定者)問 21、(第2号)問 22

自身が最期を迎えたい場所について、一般高齢者、要支援・要介護認定者で「自宅」が最も高くなっているが、第2号被保険者では「わからない」が最も高くなっている。

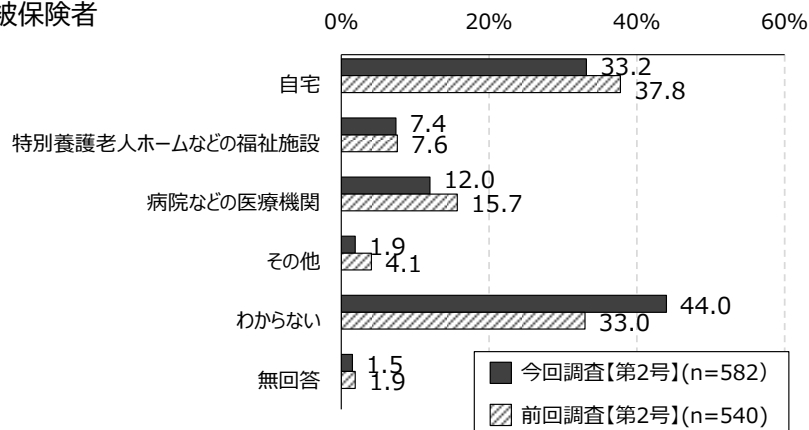
【図表 53】 一般高齢者



【図表 54】 要支援・要介護認定者



【図表 55】 第2号被保険者

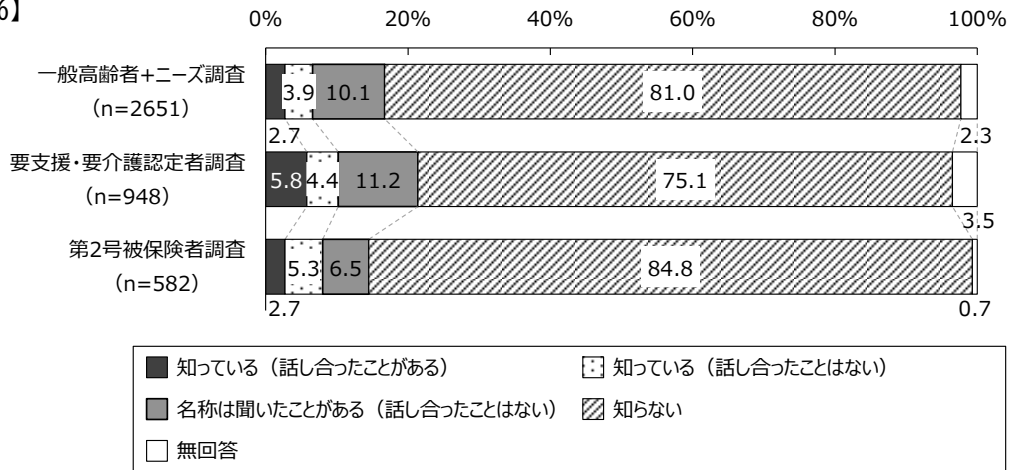


問 あなたは、ACP(人生会議)について知っていますか。

(一般)問 58、(認定者)問 22、(第2号)問 23

ACP (人生会議) について、いずれも「知らない」が最も高くなっている。

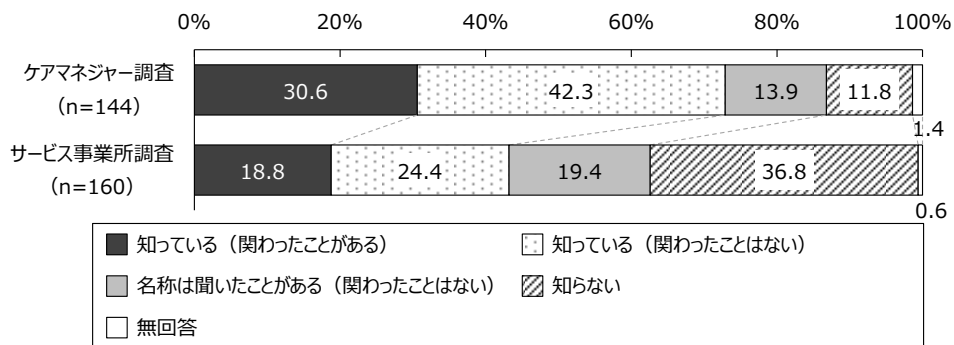
【図表 56】



問 あなたは、ACP(人生会議)について知っていますか。(ケアマネ)問 27、(事業所)問 30

ACP (人生会議) について、ケアマネジャーでは「知っている (関わったことはない)」が 42.3%で最も高く、サービス事業所では「知らない」が 36.8%で最も高くなっている。

【図表 57】

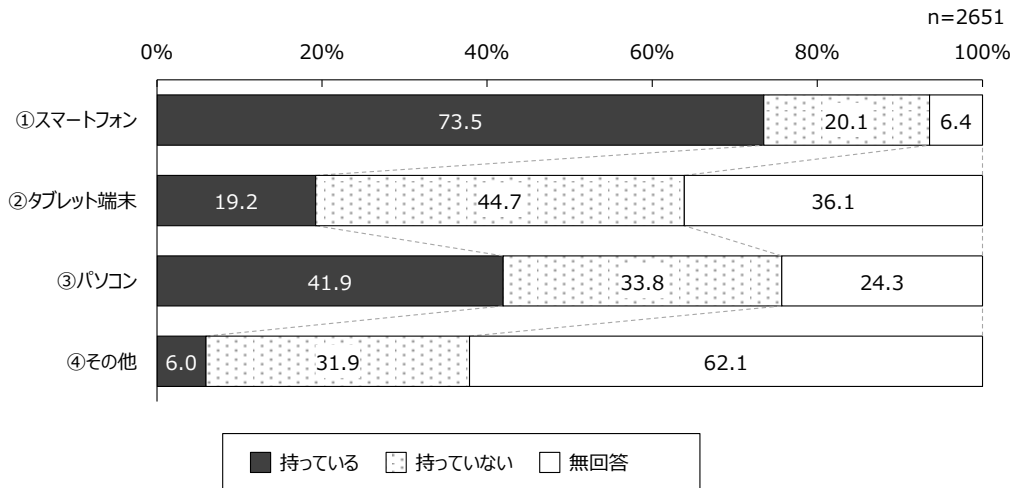


(12) 通信機器の利用状況

問 通信機器の所有状況やインターネット等の利用状況についておたずねします。(一般)問 75
(1)所有状況

通信機器の所有状況について、「持っている」は①スマートフォンが73.5%、②パソコンが41.9%となっている。

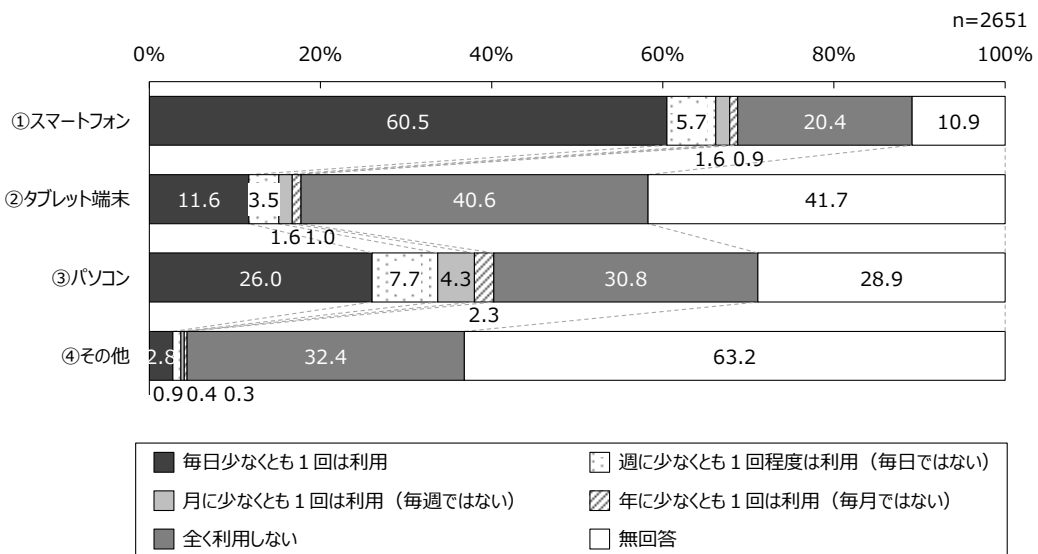
【図表 58】



(2)過去1年のインターネットの利用状況

所有の状況に関わらず、過去1年のインターネットの利用状況について、「毎日少なくとも1回は利用」は①スマートフォンが60.5%で最も高くなっているが、ほかの通信機器では「全く利用しない」が最も高くなっている。

【図表 59】



(3) 過去1年間に利用した通信機器を使った機能・サービス

過去1年間に利用した通信機器を使った機能・サービスについて、①スマートフォンでは「電子メールの送受信」が59.9%で最も高くなっている。

【図表 60】

